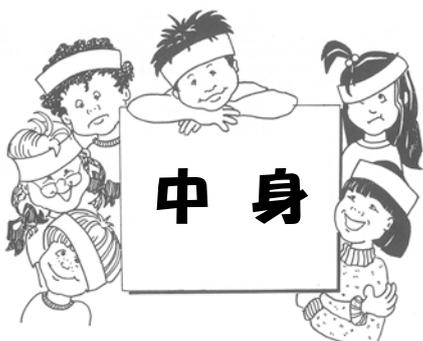


Lions Quest ライフスキル教育プログラム 小学生版導入！！

2013年夏、日本のライオンズクエストプログラムに、これまでの「思春期版」に加え、「小学生版」が導入されます。プログラムの基礎となる理念や考え方は思春期版と同様。家庭と学校が手を結び、力をあわせて子どもたちを育てるためのもの。つまり、ライフスキル学習を通して、子どもたちの責任感、自律心、正しい判断力、そして仲間との協力など、生涯役立つ生きる力、行動する力を育てることを目指しています。



主な対象：小学校1年生～5年生
冊子：各学年別の教材(単元1～単元5+サービスラーニングを収録)
各学年各単元に対応したワークシート集
CD-ROM(全学年全単元のワークシート全ページを収録)
概要書
保護者会運営手引書

その1：早期からの学習で、ライフスキルが身につくやすい！

その2：小学生のうちから身につけておきたい力がある！

その3：基本的なライフスキルを身につける教材として中学生以上にも有効！

卓球にたとえてみると・・・、

小学校から卓球をやっていた選手はフォームがきれい！それは、基礎体力が未熟な小学生は力に頼らず、きれいなフォームでラケットの芯にしっかり当てて打たないと玉が飛ばないから。このように、卓球に限らず、スポーツ全般において、小さいときに基礎になるトレーニングをきちんと積んでおけば、中学生、高校生、大人になって大いに役立つのと同じように、小学生でのライフスキル学習が一生の基礎になります。グループ活動のやり方、友だちや自分のよさを見つける、よい大人と関わる、何よりも成功体験をつみ自信をつけ、目標に対して前向きなイメージをもつということ、感受性が最も高く、信頼感や仲間意識が育つ小学生で学ぶと、より効果的に身につきます！

また、中学生の選手がうまく打てないときにフォームの指導から行うように、日常生活に課題がある中学生に基本的なライフスキルを指導する教材としても小学生版は有効です。



特 徴

その4：家庭と学校を結ぶ充実したワークブック！

小学生版の教材は、各学年各単元に対応したワークブックが用意されています。このワークブックは、家庭と学校、子どもたちと保護者を結ぶように構成され、家庭で楽しくライフスキルについて話し合い、実践する場面が多く含まれています。例えば、休日の家族での過ごし方、家での手伝い、家族のルールをつくるなどです。また、子育ての参考資料にもなり、各ワークブックには必ず「子育てのヒント」というページがあります。年齢にあった、そのとき子どもたちが学んでいるライフスキルに合った子どもたちとの接し方や遊び方が紹介されています。

その5：さまざまな教科での活用が可能！

思春期版同様、小学生版教材もさまざまな教科での活用が可能です。例えば、賞賛の気持ちを表すカードづくり＝図工、家族を紹介する＝家庭科、仲間を知る活動(皆の身長や兄弟姉妹の数を足したりする)＝算数など、活用方法は多様です。ライフスキルの時間だけではなく、さまざまな教科でも活用することはライフスキルを身につけるのに有効です。



各学年に以下6つのカテゴリを全て収録！同じ単元でも、低学年のほうがよりわかりやすくなっています。学年が上がるにつれて、少しずつ内容が深くなっていきます。



単元概要

単元 1

みんなはこのがっこうのなかまだよ

学校／学級をよい雰囲気の集団にすることは、子どもたちが自らを集団の一員として大切に価値ある存在であると認識するために重要。子どもたちの行動に焦点を当て、自信と責任感を育てる。



単元 2

なかまとともにおおきくならう

よい集団の中で仲間とともに育つことは、子どもたちがさまざまな活動を通して協力や共有することの大切さを学び、実践できる力を身につける上で、効果的。グループ活動を通して、コミュニケーション能力を形成・強化する。

単元 4

やくぶつにかかわらないで大きくなろう

薬物は社会がもつ“病気の1つ”。子どもたちは自分の健康を大切にし、よく分からないもの、あるいは危険とわかっているものに手を出さないことがなぜ重要なのかを学習する。

単元 3

正しい「けっせい」をする力を育てる

正しい情報に基づき適切な意志決定をすることは、人生を積極的に生きるための重要な能力。毎日の生活の中で注意深く、よく考えて決定をすることがなぜ重要なのか、子ども自身が学べるよう構成している。

単元 5

あなたとわたしをたたえよう

子どもたちが、自分やクラスの仲間が身につけているいろいろなスキルや能力を認め合い、互いにそれらをたたえることができるようになるためのもの。他者を尊重し、自らを信じ大切にすることを育てる。

サービスラーニング

サービスとは、他者のために何かをするということ。将来の積極的な社会参画をめざし、学んだこと、身に付けた力を他者（社会）のために生かすスキルを体験を通して学ぶ。



さあ、ワークショップへ！

ライオンズクエストプログラムの教材は、ワークショップ修了者のみにお渡しします（思春期版・小学生版共通）。実際に教育現場で実施するためには、ワークショップの受講が必要です。ワークショップでは、会場を教室と見立て、受講者が時には子ども役でプログラムを体験、時には先生役でプログラムを実践し、ライオンズクエストプログラムの理念や考え方、手法を学んでいきます。ワークショップの内容は思春期版・小学生版の教材を問わずに同一です。ワークショップ修了者は思春期版・小学生版どちらかの教材一式をお渡ししますので、ワークショップお申込み時に、思春期版・小学生版の教材希望を選択してください。

<お問い合わせ> 特定非営利活動法人 青少年育成支援フォーラム(JIYD)

〒108-0074 港区高輪 4-10-63-302 tel:03-3440-3373/ fax:03-3440-4447/ mail:info@jiyd.org/ URL:<http://www.jiyd.org/>

